
月刊武上創刊号

武上 湫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月刊武上創刊号

【Nコード】

N8347D

【作者名】

武上 溪

【あらすじ】

投稿間を埋める目的のエッセイです。今月は、次回作の取材で訪れた、東京競馬場についてのお話です。

1月刊武上創刊号

これは作業方法上、投稿まで最短半年かかる為、その間をつなく意味で月一回、筆に任せて色々書いてみようと言う趣旨の物です。

先月2月24日の日曜日に、次回作の取材で府中の東京競馬場に行つて来ました。次回作は、この競馬場で行われる日本ダービー日本優駿芝2400メートルが、クライマックスになる予定で、コースの雰囲気をつかむのが目的でした。

で、身動きできない状態では困るので、岐阜を11時に出て、府中競馬正門前駅に4時半に到着しました。この日はG1フェブラリーステークスが開催されていて、すでに帰る人並みを逆行して、渡り廊下を歩いて行きました。パドックでは最終レースの馬が周回してました。

フジビュースタンドなる案内版から入って行くと、正面スタンドのド真ん中に出て、正面ストレートが目の前に広がりました。最終レースがスタートする中を、スタンドを降りてゆくと、オジサン達が「行けっ。行けっ。」

と唸ってるのが聞こえてきます。

降りきると、グラウンドレベルで外ラチまで行けます。でも、実際に馬が走る内ラチは遙かかなたで、最終レースの馬群も小さく一瞬で消えて行きました。ライブ感ゼロで取材は失敗かな〜という感じですね。その場所から、左に内馬場に行ける地下道が見えたので、コースの内側に行ってみました。

ターフビジョンと言う、ちょっとしたビル程あるモニターの横から、

正面ストレートを見てみました。ここと芝コースの間には、ダートコースがあつて、距離的には同じ遠さでありました。そして、正面スタンドを見た時。異様な違和感に襲われたのです。

タンカー程もある横幅に、デパート程もある高さ…これはいったい何だ？。デザイン性も裝飾性もない馬鹿デカい奇怪な建造物…。

それは、競馬の勝ち馬投票券と言う側面そのものでした。

実は次回作は、競馬のレースと言う側面のみで描くつもりでした。

しかし、この正面スタンドを見て、それで良いのかという思いに襲われたのです。

競馬の勝ち馬投票券…馬券ですが、この側面には、全財産を失った人や借金にまみれた人達が存在します。もちろん、百円単位で上手に遊んでいる人もいます。正面スタンドというのは、馬券がゴミになつたか、払戻金引き換え券になつたかを確かめる場所なのです。

そしてゴミになつた馬券のお金で、この奇怪な馬鹿デカい建造物が、まさに地面から生えている…そんな感じを持つたのです。

これを次回作の中に描かないのは違うんじゃないか…。しかも、騎手がサラブレッド2才馬になつて、彼女とダービーに挑むなんて話しを書いて大丈夫か？など…。すでに3話まで書いてしまつてる状況で、現在も執筆は事実上停止した状態です。

付け加えるなら、未成年の子供達も読者として存在する中で、馬券という側面を描かない事で間違つた認識を与えるんじゃないか…。もはやマイナス思考の雪ダルマとなつて転がり始めてしまいました。

まあ、この作品は中止するという選択。主人公を女性騎手に変えて、主題も恋愛から願いをとげるとはどういう事なのかに変えて書く選択。の2つを考えています。

どちらにするにせよ、東京競馬場に行つて良かったとは思いません。そのまま書けなくても、モデルとなる場所や人に対峙する事は、小説を書く上で省略してはいけない作業だという事を確認した思いで

す。タイフーンアイでも、梅田の堂島周辺を歩き回って得たものは小さくありませんでした。その場所に行かなければ感じる事ができない事は実に多いです。小説のネタに困った方は、いろんな場所を歩き回しましょう。たくさんの人に会って小説以外の話しを聞きましょう。まさに世界は知らない事に満ち溢れています。本やネットでは知る事のできない事があるんです。

作家よ取材に出よう！。で創刊号を締めたいと思います。

読んで下さってありがとうございます。では4月号でお会いしましょう！。

3月11日 武上溪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8347d/>

月刊武上創刊号

2010年10月11日23時06分発行